



### 9月19日(火) 稲刈りをしました!

5年生が5月15日に植えたもち米の苗が、暑い夏を経て立派な穂をつけました。子どもたちはずっと収穫を楽しみにしていました。9月19日(火)の5、6限に稲刈りしました。まずは、鎌を持った子どもたちが刈っていきます。根気よく刈り続け、大人もびっくりするほどの働きぶりです。最後は稲刈機で一気に刈っていただきました。とれたお米は学校に届けていただき、玄関に飾ってあります。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。



とれたお米は学校に届けていただき、玄関に飾ってあります。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

### ❀ 10月行事予定 ❀ ※行事予定が一部変更・追加されることもあります。

1	日		16	月	PTA 交通安全指導	
2	月		17	火		
3	火	4限授業 13:30 一斉下校 14:00~個別懇談会	} 訂正	18	水	居住地校交流 14:30 一斉下校 交通安全合同点検
4	水	4限授業 13:30 一斉下校 14:00~個別懇談会		19	木	ALT
5	木	4限授業 13:30 一斉下校 14:00~個別懇談会		20	金	1年柿野小との交流学习
6	金	前期終業式 13:45 一斉下校	21	土	松阪市防災訓練 17:00~	
7	土	9:30~CSグッズ販売(道の駅)	22	日		
8	日		23	月	ALT	
9	月	スポーツの日	24	火		
10	火	平常授業 後期始業式	25	水	14:30 一斉下校	
11	水	14:30 一斉下校	26	木	EST	
12	木	4年社会見学 EST SC(午後)	27	金	就学時健康診断 12:30 マラソン前検診	
13	金		28	土		
14	土		29	日		
15	日		30	月		
			31	火		

### ❀ 11月のおもな行事予定 ❀

- 11月12日(日) 粥小フェスティバル・感謝を伝える会
- 11月14日(火) 交通安全教室(6年)
- 11月24日(金) 5年社会見学



## ～自ら学ぶ子をめざして～ 全国学力・学習状況調査の結果から

本年4月に全国の6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施され、7月末に調査結果が文部科学省から公表されました。この調査に表れた結果から本校児童の学力や学習・生活状況等についての傾向をつかみ、自分の得意・不得意を理解した上で、「主体的に学んでいく子の育成」や教員の「指導方法の工夫改善」につなげていきます。

### <教科に関する調査結果から>

○国語・算数とも全国の平均正答率を上回る結果となりました。

#### 国語では

○文章の種類とその特徴について理解できています。

●図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き、表し方を工夫することが苦手です。

#### 算数では

○伴って変わる2つの数量について表から変化の特徴を読み取り、知りたい数を求めることや比例の関係でないことを説明することができています。

●正三角形の意味や性質の理解と高さの等しい三角形の面積の大小は判断できるが、その理由を記述することが苦手です。また、わり算のひっ算における商の意味と百分率で表された割合の理解が苦手です。

### <児童質問紙調査の結果から>

○「人が困っているときは、進んで助ける」「いじめは、どんな理由があってもいけない」の肯定的な回答 100%

○「自分にはよいところがある」91.7%「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」91.7%「学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」91.7%で肯定的な回答が多い。

●「学級生活をよくするために話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている」50%「授業で、PC,タブレット PC をどの程度使用したか」50%で肯定的な回答が少ない。

●「学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強していますか」「学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間読書をしていますか」の時間が、全国平均より大きく下回っている。

### <改善策として>

○授業では

・児童が自分たちで解決していく課題を工夫する。解答するだけでなく人に伝わるように説明する機会やそれを記述する機会を授業に取り入れる。また、文章を書く際は、習った漢字を使い正確に書くよう指導していく。

・ペアやグループで助言し合いながら自分の考えの説明や記述した文章を見直す機会を設け、自分たちでよりよく伝えようとする授業を構成する。その際、ICT機器の活用も工夫する。

・日常生活の場面に基に、学習内容を体感する機会を持ち、理解を深める工夫をする。

○自ら学ぶ子を育てるために

・各学年の年間カリキュラムを作成し、教科間のつながりや学習を深めるための課題づくりを教員一人ひとりが進めるとともに、小規模校の利点を生かし、それぞれの学習に異学年交流なども取り入れる。

・総合的な学習の時間での探究的な学びを重視し、地域の人材や文化財を教材に自分たちで課題を見つけ考える学習となる授業づくりを計画的に進める。

・家庭学習の充実のため、児童への生活アンケートを実施し、小中が連携して家庭学習のための「学びの手引き」の見直しを行う。また、飯南中学校区学校運営協議会による熟議や「子どもたちに育みたい力の育成」のチラシ作成など家庭・地域とともにめざす子ども像の共有をしていく。